



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-752-0453 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶



市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第406号

2019年5月20日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

「阿蘇小学校を残せ」は住民の切実な願い!

5月16日、教育委員会による「阿蘇・米本地域小中学校の学校適正配置方針の変更について」の説明会が行なわれました。この説明会は、阿蘇・米本の3つの小学校と阿蘇中学校を統合し、施設一体型の小中一貫校とするものであったが、「米本団地から小学校をなくすな」の粘り強い運動や財政上の理由から施設一体型を断念に追い込まれ、新たに小学校3校を米本南小学校に統合する施設分離型の小中一貫校とするため開かれたものです。

参加した住民からは、教育委員会や行政に対して多数の批判が噴出しました。終了時刻は予定の、19時をはるかに超え、21時近くなりました。この方針では、阿蘇小学校はなくなってしまうのです。140年以上の歴史をもち、地域コミュニティの中心として存在してきた阿蘇小学校を残したいという保護者、阿蘇小の卒業生がそれぞれの立場から反対の意見を述べました。



阿蘇小学校は、今後生徒数が増え続け、各学年複数学級となる見込みです。児童数が増えるのに統合というのでは、保護者の理解が得られないのは当然です。

一方で「米本小は複式学級になるおそれもある」というのであれば、米本小と米本南小の統合で解決するので、3校統合の必要性は全くありません。

優れた自校給食をなくすなんてとんでもない

阿蘇小学校は自校給食で、子どもたちに大変喜ばれています。米本南小学校に統合されたら、「自校方式ではなく、センター方式になります」との説明に、お母さんたちから一斉に「えー、とんでもない」とブーイングが起きました。さらに、「米本南小に給食室をつくらないのか」との質問に、「つくらない。アレルギー対策もできないから」という教育委員会の説明。しかし、佐倉市から越してきた保護者は「佐倉市では全て自校方式で、なおかつアレルギー対策もできている。」と反論。教育委員会は、今回の方針変更のため、つくば市の小中一貫校を視察してきた。と言いますが、つくば市の教育長は「小中一貫校は、子どもの社会性も育たないし、教育の格差が広がるもので、絶対に今後につくらない」と教育集会で語っています。何を学んできたのでしょうか。

「住民の声を持ち帰り再検討する」と約束

教育委員会は「方針を理解していただき、ご協力をお願いします」と繰り返しましたが、住民は最後まで方針を白紙に戻すことを求めました。そして、ついに「意見を持ち帰り、再検討をする」と約束をさせました。

「子どもたちのために」「よりよい教育のために」真剣に考えているのは、親であり、地域の人々であることが明確になった説明会でした。